

まちづくりセンターだより

みまた

令和 3 年 (2021)

5 月 発行 〈第2号〉

美又まちづくりセンター

TEL・fax 42-1704

今福小学校実習田の田植え

感想発表の様子



5月6日(木)今福小学校全校児童47名と地域の皆さんで実習田の田植えを行いました。

昨年はコロナの影響で田植えができませんでしたが、今年は前日までの雨や大風がウソのように広く晴れ渡り、のどかな田植え日和となりました。地域の方から苗の持ち方や植える数、植え方を教わって素足で田んぼに入りました。

1年生・2年生の皆さんは学校での田植えは初めてで、田んぼに入るのを怖がる児童もいましたが、上級生のお兄さんお姉さんに見守られながら植えました。

感想発表では、泥だらけはいやだったけど楽しかった。1・2年生に優しく教えることができた。米作りの大変さがよく分かって心に残るものだった。地域の皆さんにお世話になりましたなど、感謝の気持ちを発表していました。

「ええ米が出来るで～」と
カエルも応援に来たのかな !!





4月24日(土)・25日(日)の両日、美又国民保養センターを会場に初めての「美肌まつり in みまた」が開催されました。好天に恵まれ、用意した300食の「やちよ鍋」(いのしし鍋)は全て振舞われ美味しいと好評でした。足湯につかったり、友人や家族連れで石見神楽を楽しんだり、橋元屋幸守さんの落語でくつろいだりと、新緑に囲まれて久しぶりのまつりを満喫しておられました。



お茶べり会

5月11日(火)お茶べり会を開催しました。パタカラ体操や指を使った頭の体操をした後、卓球台を取り囲み「風船落とさないゲーム」を行いました。予想通りに動かない2個の風船を追いかけて大笑いです。

少し休んだ後は、回想法を取り入れた昔の米づくりの様子を話し合いました。早朝からの田植えや、いいそをのうて手刈りで稲を刈り、提灯を灯しての高いはで干し作業、千歯こぎを使って家族総出で行った脱穀等々、今では想像出来ない本当にご苦労の多かった米づくりに話は尽きませんでした。

今回のおやつは、懐かしい「はったい粉」です。昔話に花が咲きました。

お茶べり会は今月から第2火曜日に変更して行います。来月は6月8日(火)ですので多くの皆様のご参加お待ちしております。



にこにこサロン



4月28日(水)にこにこサロンが開催されました。今回は市社協の吉川介護支援コーディネーターの指導で手指や足を使った体操や脳トレ、ボールを使ったゲームを行いました。脳トレでは、足踏みと手を打ちながら数字の倍数を言ったり、後出しじゃんけんを声を出しながら行いましたが、手と声が合わなくなり・・・爆笑！歌を歌いながらリズムに合わせてボールを回すゲームはなぜか合わなくて・・・苦笑い！少し脳が活性化したかな・・・？

市社協のアンケート結果によると、コロナ禍で閉じこもる日が多く、嚙んだり飲み込みの低下や筋力低下など、心と体の健康が失われるので、集うこと、つながりを切らないことが大切だとお話がありました。

美又^{ひと}人紹介コーナー

美又在住者やU・ターンされた方などを紹介

小 川 慎 二 さん（越沢町内会）

『越沢にUターンし郵便局長として活躍中』



＜慎二さんからのコメント＞

越沢町内の小川慎二です。来年 3 月、還暦を迎えますので、自己紹介を兼ね自分を顧みたいと思います。

小4までは今福郵便局前の現在、弟夫婦が住んでいます旧今福郵便局跡に住んでいました。小4の夏休みの終わり、母が体調を崩し、やむなく現在の住まいである祖父母のいる越沢へ住むことになりました。ここから当時今福郵便局に勤務していた父の車で今福小に通いました。越沢の印象は山の中で人が少なくて淋しい。（夕方早くから真っ暗なのには参りました。）にぎやかな今福に早く帰りたいの一心でした。でも越沢の同級生、お兄さん方は、素朴で優しいいい人ばかりで少しずつ気持ちもほぐれていきました。

中学校は 1 年間今福中に自転車通学。中2からは金城中です。高校は浜田高校で市内に下宿しました。ここから 20 年間、越沢を離れることになります。高校一番の思い出は追原地区のK先輩から声をかけていただき応援部として甲子園を経験できたことです。

大学は将来の郵政関係希望者、特に全国の郵便局長の子弟が集まる立正大学に入学しました。1・2年生は埼玉県熊谷市でした。寮生活はとにかく厳しいのに参りました。挨拶、掃除が半端なく、寮内中大声で挨拶のラッシュ。先輩を見逃せば夜に厳しい指導が待っています。掃除も先輩の点検後、窓の隅等指先に埃を残すようだとそれは大変なこと。靴をきちんとそろえるのも少々では合格しない。トイレ、風呂掃除しかり。夜10時には1年生全員が畳の間に正座し目を閉じ両手を後ろで組み先輩を待ちます。その緊張感、恐怖感といったら・・・その日のミスで「両手上げ」。それは10分、20分と伸びて行きます。そのきついこと・・・同期生は次々と吐いたり倒れたり。時には板の間、砂利の上での正座もありました。大学3・4年は東京の五反田です。4年生の時は約350人の部員を有する「郵政会」という大学サークルのリーダーとして活動しました。アルバイトも経験しました。五反田駅のカレー専門店、また渋谷郵便局で朝5時半から郵便の配達をしました。早朝の原宿を自転車で突っ走る爽快感は今も忘れられぬ思い出です。

就職は大田区の東馬込郵便局。それから郵政省中央研修所勤務、そして品川区の大崎郵便局勤務となり、28歳から広島市内の郵便局。35歳で島根に帰り三隅町、旭町の郵便局を経験し、42歳で局長として今福郵便局に着任し、今年で18年目となりました。

先祖代々今福郵便局長で、私も少しでも先祖のように地域のお役に立ちたいと決意新たにUターンしましたが、日々の仕事に追われ、なかなか思うようにはできない葛藤の毎日です。

おっと、家族の紹介を忘れていました。娘 3 人は全て巣立ち、現在は妻と2人暮らしです。妻に尻を叩かれている日々です。どうか皆様、これからもよろしくお願いします。

ふるさと学習会のご案内

6月30日(水) 午前9:00~10:30

美又まちづくりセンター 於 TEL 42-1704

講師: 島根県立大学 准教授

田中輝美さん

テーマ: 『いま島根が面白い!』

全国最先端の地から』

島根県はいま地域づくりの先進地として、全国で知られるようになっていきます。それは、なぜ?どんな風に?

島根県浜田市で生まれ育ち、長年島根を取材してきた立場から、いまの島根の面白さと時代の変化を解説します。

【講師紹介】

浜田市生まれ。大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。山陰中央新報社に入社し報道記者として勤務。2014年同社を退社し、フリーの「ローカルジャーナリスト」として島根に暮らしながら、地域のニュースを記録、発信している。2021年4月島根県立大学地域政策学部の准教授として着任。

※ ご講師は美又地区にご縁の深い方です。
皆様お誘いあわせてご参加ください。
どうぞお楽しみに!

ここはどこでしょう?



美又地区にもこのようなつつじ園がありました。
今年は咲くのが早かったですね~!!

今月の俳句

越田 武雄

しやくなげの開きて樹木にぎわえり
土を寄す目に見えて伸ぶ芋の芽に

横田 雪生

晴天に貼り付くごとく桜花なり
枝が垂れ湖水を鏡藤の花

地域貢献奉仕作業



5月15日(土)早朝より、JA職員14名の皆さんに、旧美又小学校校庭法面の草刈りをしていただきました。

お蔭さまできれいになりました。ありがとうございました。